

第5回水資源に関するシンポジウムの開催のお知らせ

これまでに、昭和52年10月に第1回、昭和57年8月に第2回、昭和62年8月に第3回、そして平成4年8月に第4回の「水資源に関するシンポジウム」が開催され、関連する学会、行政機関および団体などが参集し、我が国の水資源に関する分野の研究および行政の進展に多大の成果を収めました。

第4回の水資源に関するシンポジウムを開催して以来、4年が経過しましたが、経済社会が高度化するなかで、水資源の量および質のよりいっそうの安定的確保とともに、同時に自然環境・生態系の保全に果たす水の機能が損なわれないなど、水循環における種々のバランスと持続可能性も求められています。さらに平成6年の全国的な大渇水や阪神・淡路大震災の発生により、水に関する危機対策の重要性も改めて認識されました。

そこで、水資源の利用、開発および保全に関する様々な問題について、学会、行政機関等が、最新の研究成果、情報を持ち寄り、幅広い検討を行うことによって、今後の水資源問題に対する理解と認識をいっそう深めることを目的として、第5回「水資源に関するシンポジウム」を開催することとなりましたので多数ご参加下さいますようお願い申し上げます。

記

主催：日本学術会議水資源学研究連絡委員会、空気調和・衛生工学会、土木学会、農業土木学会、日本気象学会、日本水環境学会、日本地下水学会、日本林学会、砂防学会、水文・水資源学会、水の週間実行委員会

後援：科学技術庁、環境庁、国土庁、厚生省、農林水産省、林野庁、通商産業省、資源エネルギー庁、気象庁、建設省、水資源開発公団、地域振興整備公団、住宅・都市整備公団、日本下水道事業団

会期：1997年8月4日(月)～5日(火)の2日間

場所：日本学術会議講堂・会議室

〒106 東京都港区六本木7丁目22番34号

交通機関：営団地下鉄・千代田線「乃木坂駅」

下車、徒歩1分

プログラム：

(1) 一般応募論文の発表 約130編

① 水資源の安定供給

a. 水資源の需要, b. 水資源の供給, c. 水資源の長期的意義

② 水循環の流域管理

a. 水源地域の保全と管理, b. 地下水の保全と利用, c. 水質制御と管理, d. 流域水循環と流域管理, e. 水経済・水制度

③ 水資源の活用

a. 水資源の効率的利用, b. 水エネルギーの有効利用, c. 異常渇水時の対策と対応, d. 異常緊急時の水源対策

④ 水資源と環境形成

a. 地域・まちづくりと水, b. 河川・湖沼の生態系の保全・改善, c. 水景観, d. 水環境教育

⑤ 地球環境変化と水資源

a. 水資源開発・保全におけるパラダイムの転換, b. 水資源の国際比較, c. 気候変動・変化と水資源, d. アジアモンスーン地域の水資源

⑥ 水資源分野における新技術の展開

a. 造水・処理技術等, b. モニタリング, c. 情報データベース・ネットワークとその利用

(2) キーノートレクチャー (6部門)

(3) 特別講演 (予定)

① John Carrol Rodda (国際水文学会会長)

演題：“Sustaining the Hydrological Sciences”

② 浅野 孝 (カリフォルニア大学デービス校工学部土木・環境工学教授、北海道大学工学部水環境工学国際 (西原寄付) 講座客員教授)

演題：「米国の水資源開発・管理の動向—そのパラダイム・チェンジ—」

(4) パネルトーク

[全体の詳細なプログラムは、参加申込みの方へ事前(7月上旬)にお送りいたします]

参加費：4,000円(論文集代を含む)

懇親会：(1)日時：8月4日(月)18:00～20:30

(2)会場：「健保会館」、シンポジウム会場より

徒歩5～6分

(3)参加費：8,000円程度

申込方法：

(1)シンポジウムの申込方法：

参加希望の方は、氏名、勤務先、住所（連絡先住所）、電話番号および「第5回水資源に関するシンポジウム参加申込」と明記の上、7月11日（金）までに参加費用4,000円を添えて下記宛「現金書留」でお申込み下さい。満員になり次第締め切りといたします。

(2)「懇親会」にも参加の場合の申込方法：

シンポジウム参加申込（参加費4,000円）と同時に、懇親会参加費（8,000円）の、合計12,000円を添えて下記宛「現金書留」でお申込み下さい。

参加申込先：

〒160 東京都新宿区四谷1丁目無番地
社団法人 土木学会内 第5回水資源に関するシンポジウム事務局
TEL：03-3355-3441
FAX：03-5379-0125



日産学術研究助成第36回発表会

「地球表層（大気、土壌、海）における水の循環と自然環境」

財団法人 日産科学振興財団

当財団はわが国の科学技術の発展を願って、環境や資源に関する分野、あるいは新材料やバイオサイエンスの分野の基礎的な研究に助成しております。そして、自然科学の研究について多くの人に理解していただくため、毎年助成を終了した研究課題について成果発表会を開催して参りました。今回は、「地球表層（大気、土壌、海）における水の循環と自然環境」というテーマの発表会を開催いたします。

われわれの地球は、水の惑星と呼ばれています。われわれ生物がこの地球に生まれ、現在生きているのは、地球に水があったお陰です。それでは、水は、自然環境の中でどのような役割を果しているのでしょうか。今、最先端の方々から水が自然環境に与える影響について、様々な観点から解説をしていただくことは、われわれが自然環境を維持保全する上でも大変有意義なこ

とであると考えます。

これらのテーマにご関心のある多くの方々のご参加を期待しております。

期 日：平成9年7月4日（金）13：10～17：00

場 所：神田学士会館 202号室

参加費：無料

申込方法：住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記の上、下記まで葉書またはFAXにてお申込み下さい。

申込期限：6月30日（月）

申込先：日産科学振興財団 事務局

〒104 東京都中央区銀座6-17-2

TEL：03-3543-5597

FAX：03-3543-5598

E-mail：at02-nsj@t3.rim.or.jp